

阿南安芸自動車道 ^む牟岐^ぎ～^の野^ね根
第1回 説明資料

平成25年12月11日
国土交通省 四国地方整備局

目 次

1. 評価対象区間	・・・	2
2. 地域の現状と課題	・・・	4
3. 道路の現状と課題	・・・	11
4. 政策目標(案)	・・・	15
5. 意見聴取方法(案)	・・・	17

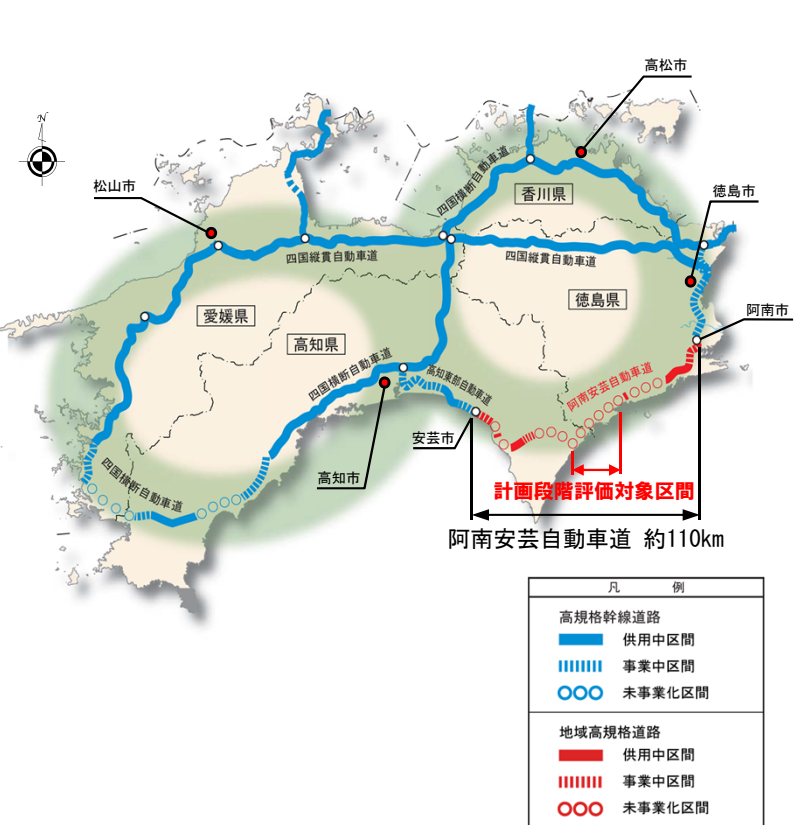
1. 評価対象区間

1. 評価対象区間

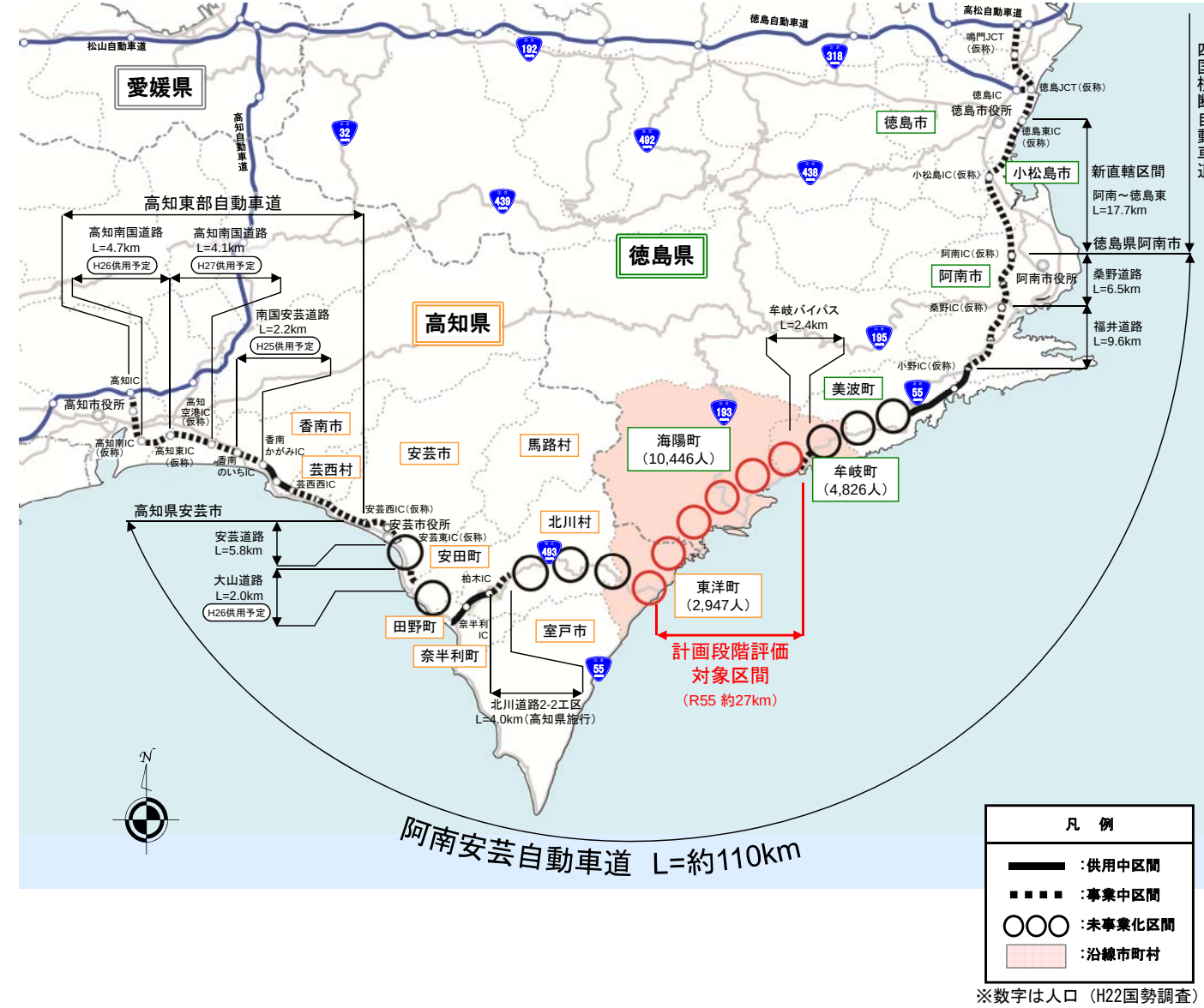
3

- 評価対象区間は、『四国8の字ネットワーク』を構成する阿南安芸自動車道の一部。
- 沿線の徳島県海部郡牟岐町及び海陽町、高知県安芸郡東洋町は、四国東南部に位置し、県庁所在地の徳島市まで約70km、高知市まで約120km。

▼広域図



▼沿線市町村と四国8の字ネットワークの整備状況



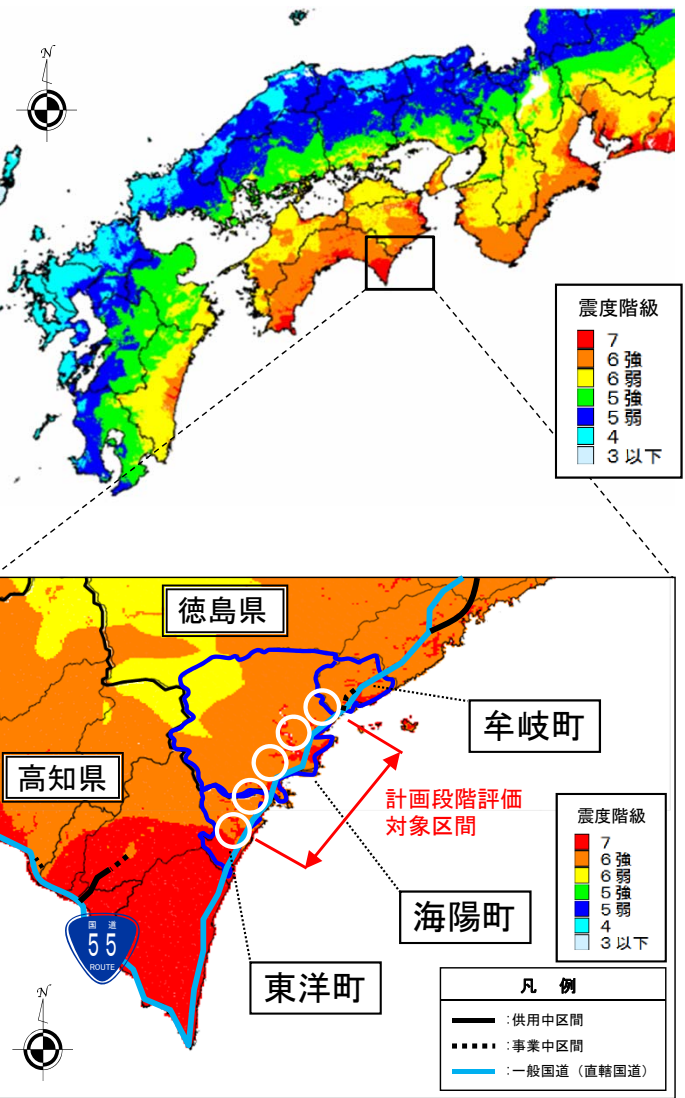
※四国8の字ネットワーク
→四国縦貫自動車道、四国横断自動車道、高知東部自動車道、阿南安芸自動車道で構成される全長約810kmの高速交通ネットワークで、平時の救急搬送や災害発生時の「命の道」としての役割や観光・産業の活性化といった様々な効果が期待されます。

2. 地域の現状と課題

現状・課題

- 牟岐町・海陽町・東洋町において、南海トラフ巨大地震により、震度7が予測されている。
- この地震により発生する最大津波高は、牟岐町で13.4m、海陽町で18.4m、東洋町で19mと予測されている。
- 当該地域では、地震・津波発生時に、地域が分断・孤立することや、確実な避難ができるかが課題となっている。

▼牟岐町・海陽町・東洋町は震度7

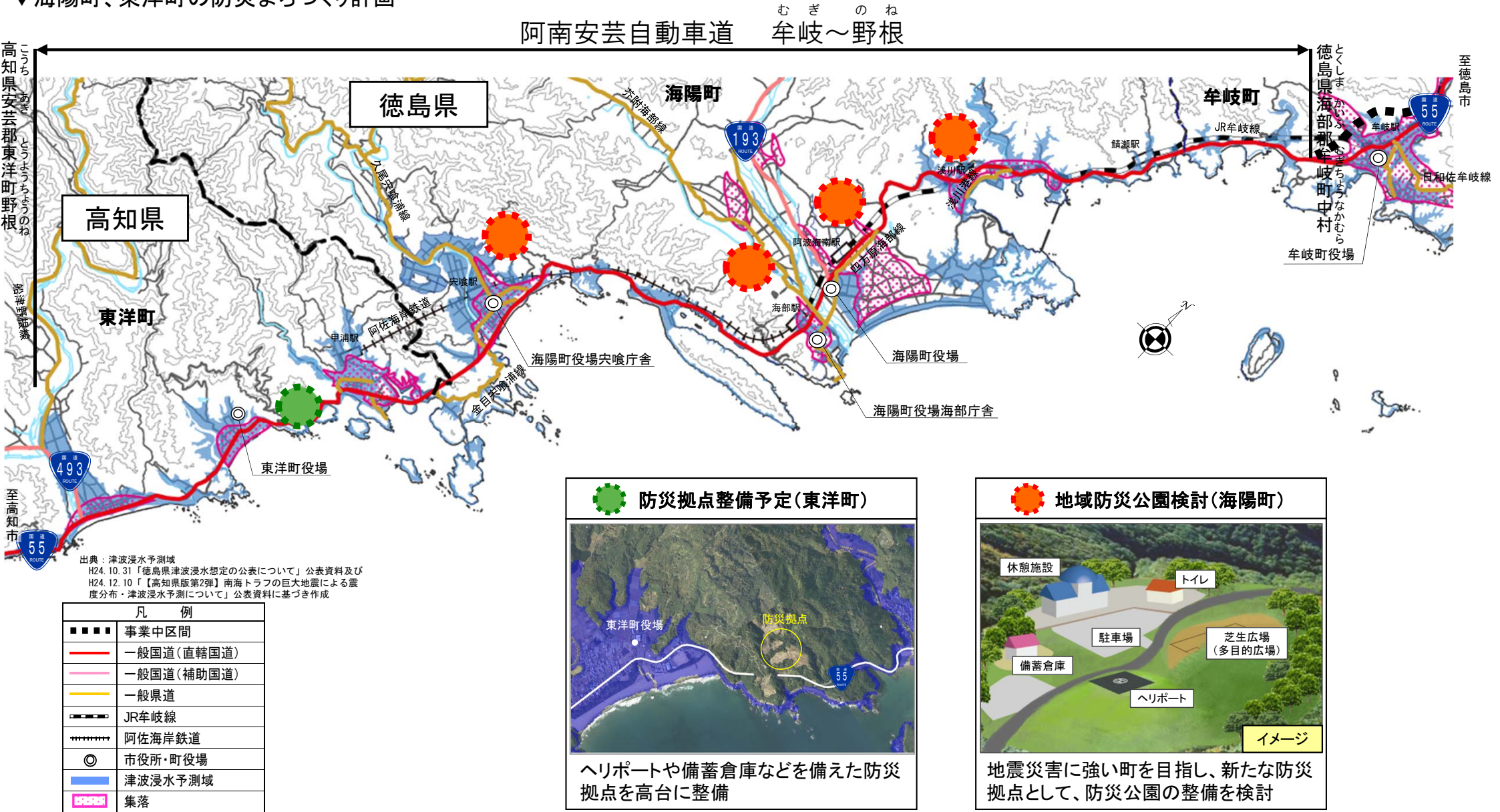


▼高い津波により広範囲で津波浸水被害が想定



現状・課題	○牟岐町・海陽町・東洋町では、南海トラフ巨大地震の被害軽減に向け、防災公園の整備などの防災まちづくりの検討が進められている。 ○防災拠点施設への円滑な救命・救助部隊のアクセスを確保することが今後の課題となっている。
-------	---

▼海陽町、東洋町の防災まちづくり計画



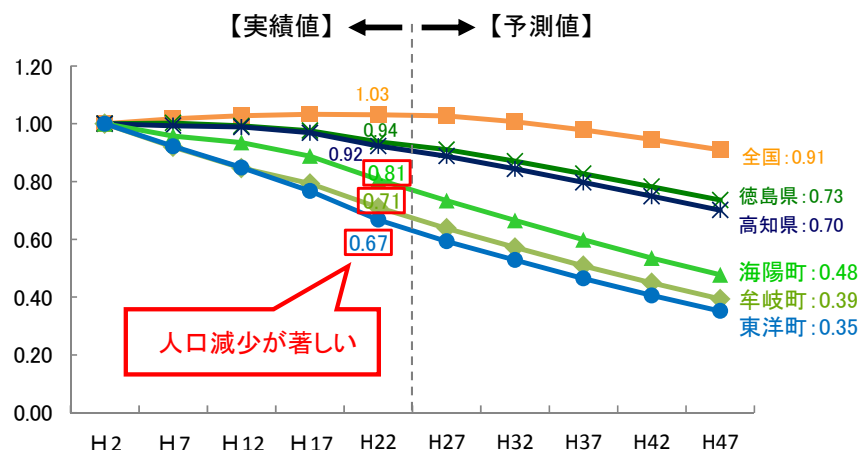
2. 地域の現状と課題(人口減少と高齢化)

7

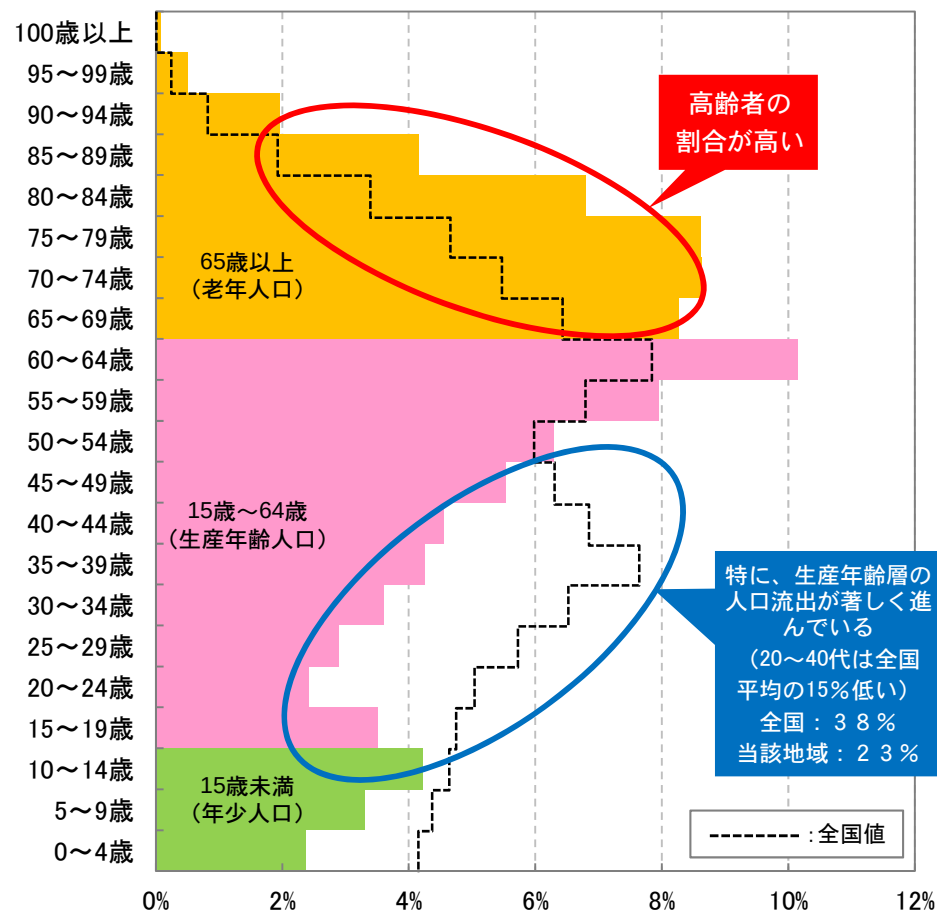
現状
・
課題

- 全国的に人口減少・高齢化が進んでおり、将来的にも、さらに加速すると予測されている。
- 特に、牟岐町、海陽町、東洋町は、人口減少・高齢化が著しく、生産年齢層の人口流出も進んでいる。

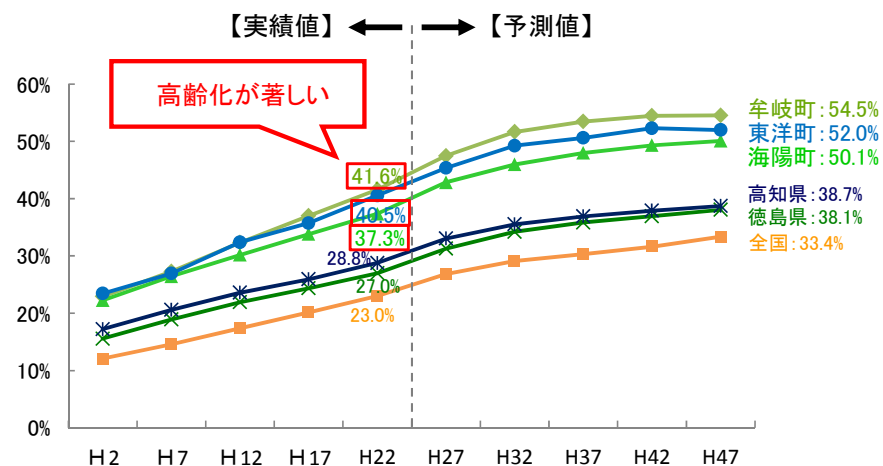
▼人口の推移(平成2年を1.0とした場合)



▼当該地域の年齢別人口



▼高齢化率(65歳以上人口割合)の推移



出典：H22国勢調査
牟岐町、海陽町、東洋町の合計値

出典 【実績値】「国勢調査」(総務省)
【予測値】「日本の地域別将来推計人口(H25.3推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

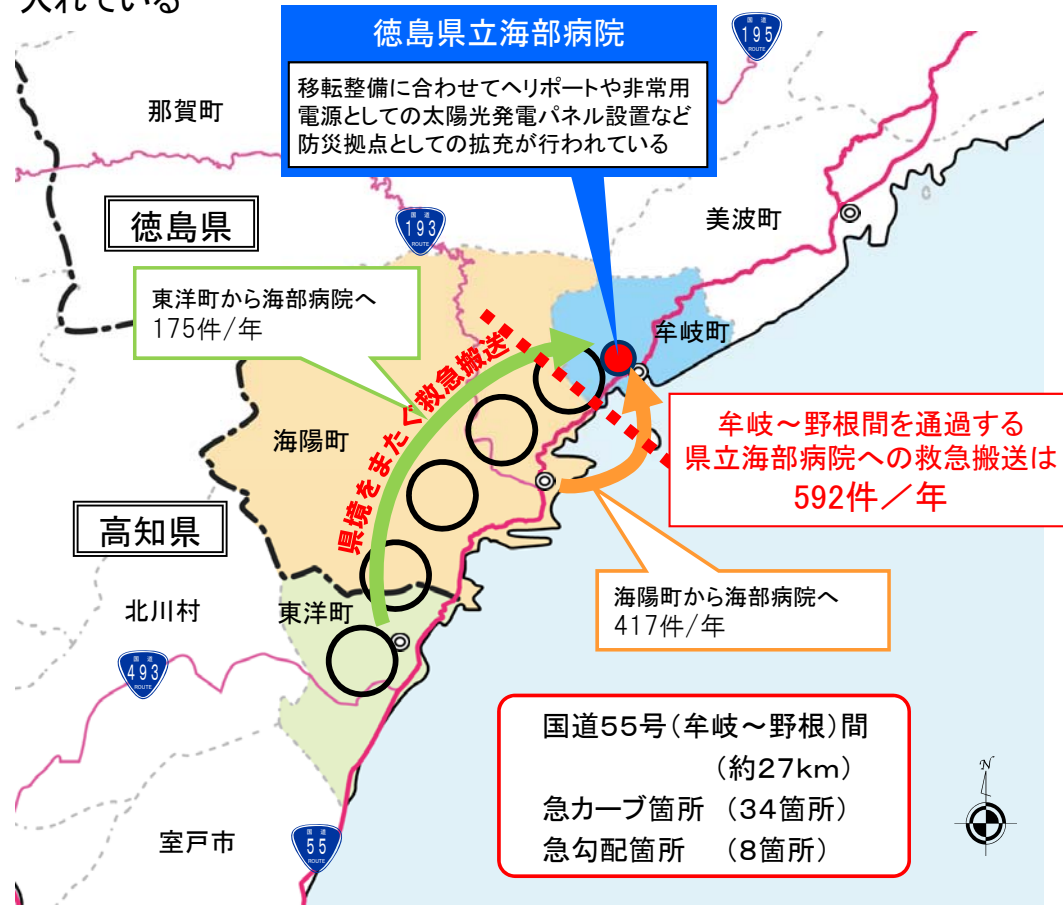
2. 地域の現状と課題(医療)

8

現状
・
課題

- 牟岐～野根間を通過する徳島県立海部病院への救急搬送は、年間592件で年々増加傾向。
- 第三次救急医療機関への移動は、約2時間も要し、迅速な治療が受けられない。
- 国道55号には、急カーブや急勾配箇所が多数あり、患者の負担となっている。

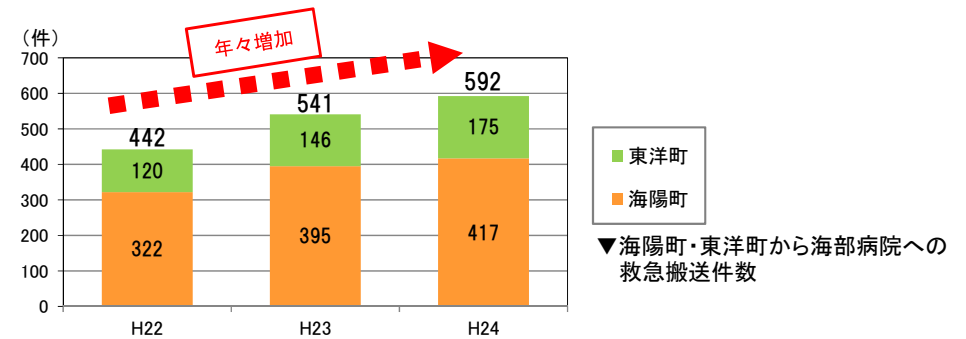
▼県立海部病院では、海陽町や県外である東洋町の救急患者も受け入れている



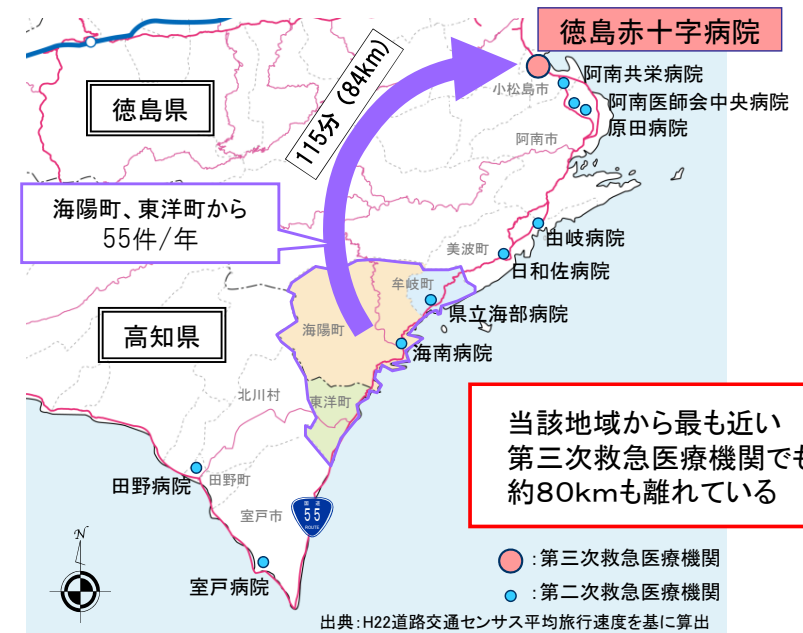
出典: 年間搬送件数
海部消防本部及び室戸消防署東洋出張所へのヒアリング結果より(搬送件数はH24の実績値)

▼第二次救急医療機関の現状

○県立海部病院は、当該地域の中核となる第二次救急医療機関であり、海陽町や高知県の東洋町からも救急患者を受け入れている。



▼第三次救急医療機関への移動は、約2時間も要する



▼消防署員の声



・国道55号は急カーブが多く**患者の負担が大きい**。また路肩幅も狭く一般車を避けるスペースがないため追越せない。
(海部消防組合消防本部)

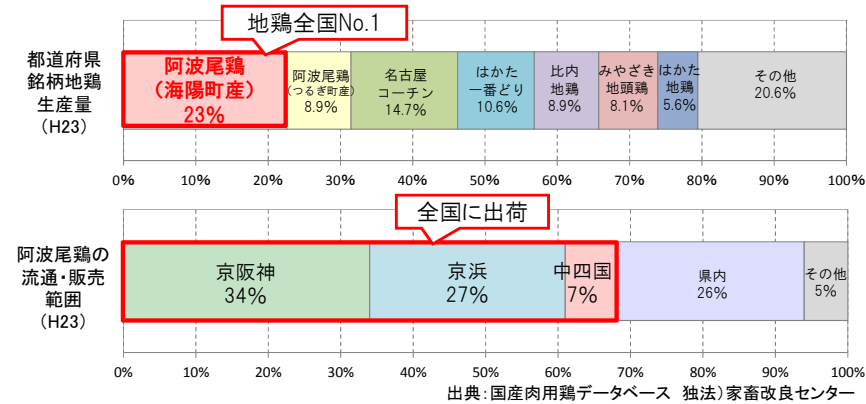
2. 地域の現状と課題(産業)

9

現状
・
課題

- 海陽町では全国地鶏生産量トップの「阿波尾鶏」が生産・加工されており、地域の主要産業である。
- 出荷時に利用する国道55号は、急カーブや急勾配箇所が多数あり、また輸送に時間を要するなど運転者の負担となっている。
- 地域ブランドである「阿波尾鶏」を核とした地域活性化の取り組みに向けて、関係機関で連携を図っていくことが必要となっている。

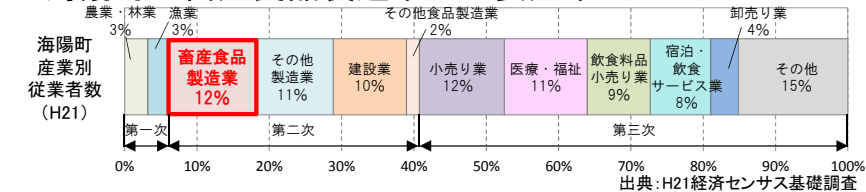
▼「阿波尾鶏」の海陽町での生産量は国内第1位であり、全国に流通・販売



・出荷の主要経路は国道55号であるが、**高速道路に比べ時間を要することから、運転者に負担がかかっている。**

・夜間に出発することが多いが、国道55号は**急カーブや急勾配箇所が多く、運転に気を使っている。**
(海陽町畜産業者)

▼海陽町の畜産食品製造業は主要産業

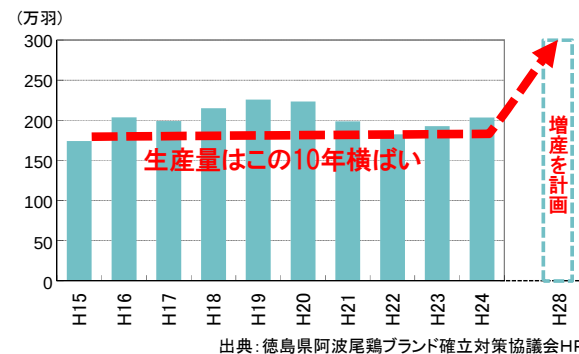


▼阿波尾鶏の増産計画

地域ブランドである「阿波尾鶏」を活用して、徳島県、大学、畜産業者などが連携し、阿波尾鶏の増産や新たなブランド（肥料・農産物）を開発・販売する取り組みを実施



出典: 徳島県



・人材及び施設の増強によりH28を目標に300万羽への**増産計画を立てている。** (海陽町畜産業者)

▼国道55号は急カーブ箇所が連続し、時間も要する



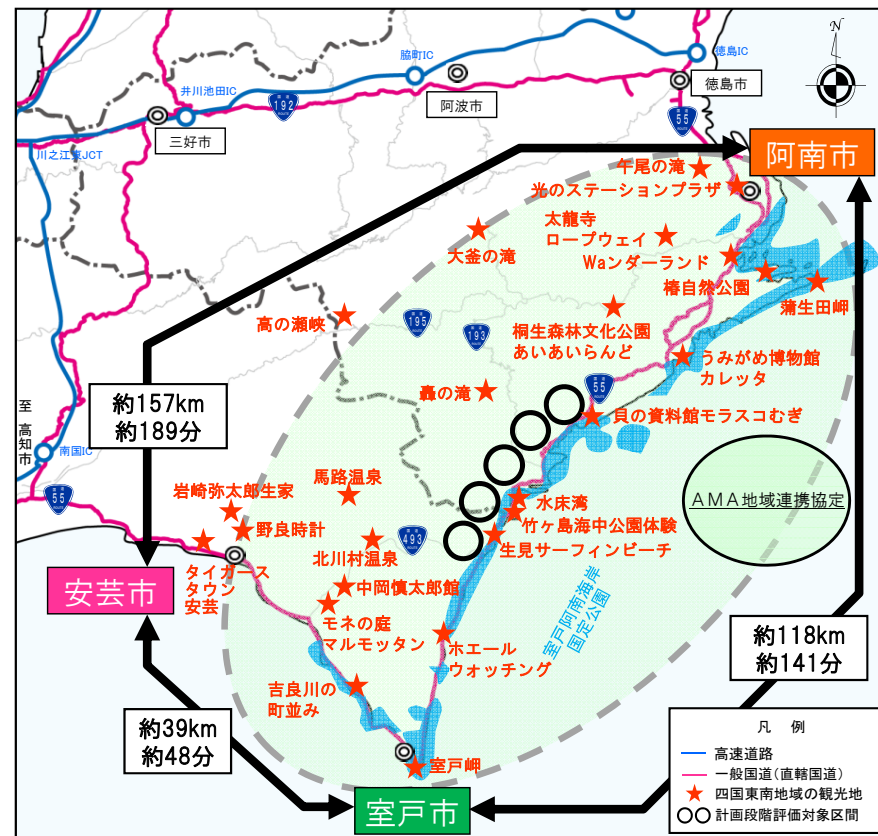
2. 地域の現状と課題(観光)

10

現状
・
課題

- 阿南市、室戸市、安芸市が県境を越えて連携し、周辺自治体も含め地域間の周遊コースの確立など、広域のかつ戦略的な観光振興に取り組んでいる。(AMA地域連携協定(H20.5))
- 四国東南地域には、自然豊かな観光資源が存在するものの、観光入込客数が伸び悩んでいる。
- 地域活性化の観点から、点在する観光資源を相互に連携し、地域内外の交流を促進させることが課題となっている。

▼四国東南地域の自然豊かな観光資源を活かすべく、県境を越えた地域連携による観光振興への取り組みが進められている

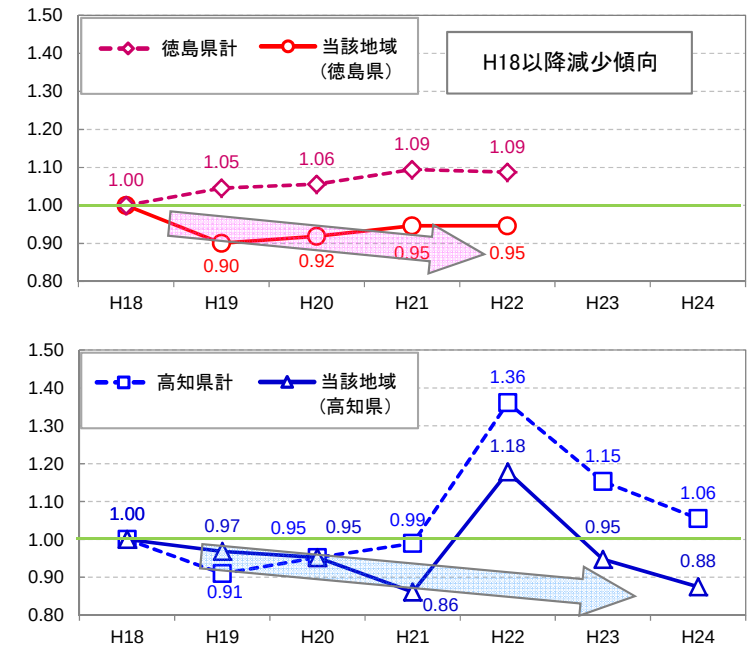


距離及び周遊時間: H22道路交通センサスの道路延長及び平均旅行速度より算出

AMA地域連携協定(AMA: 阿南市(Anan)・室戸市(Muroto)・安芸市(Aki))

- 目的: 四国東南地域の広域的な観光振興に取り組む
- 取り組み内容: 観光周遊コースの検討、情報発信、交流活動路の促進、周辺自治体との広域的な連携調整等

▼当該地域の観光入込客数は伸び悩んでいる



出典: 平成23年度徳島県観光調査報告書(H22調査)

当該地域(徳島県): 阿南市、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町

【平成18年～平成24年】県外観光入込調査結果の概要について

当該地域(高知県): 室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村

▼観光業界や観光客の声



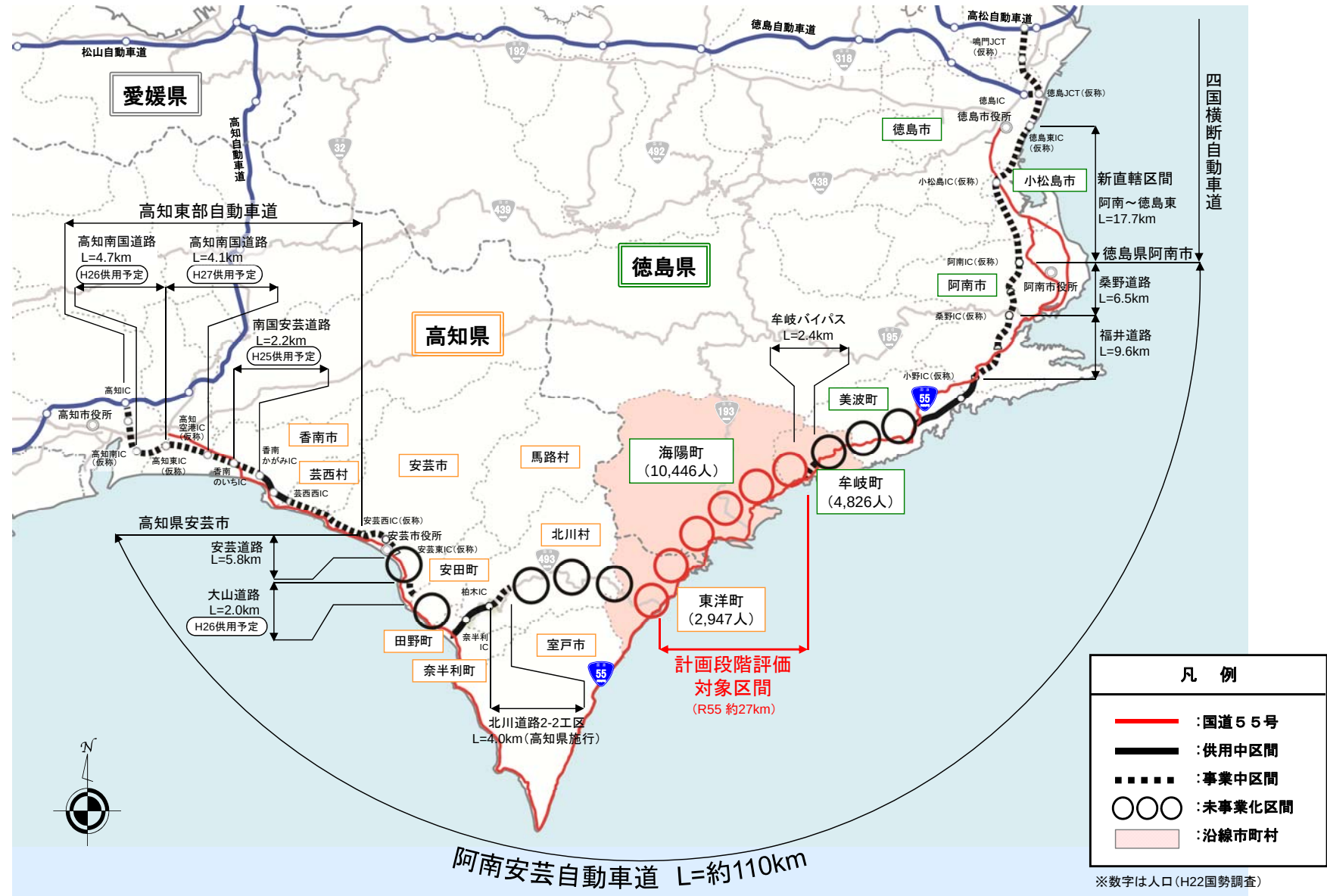
- ・ 海水浴やサーフィン等のレジャーが楽しめる地域である。しかし、現状では、移動時間が長くなるとともに、円滑で快適な移動が困難であると考えられることから、**阿南・安芸方面の周遊観光ツアーを組みにくい。**(旅行会社店員)
- ・ 手つかずの自然が残っている魅力があり、十分な観光資源となりうる。他県に比べて**高速道路の整備ができていないため、観光客が来ない**のはもったいない。(観光訪問客)

3. 道路の現状と課題

現状・課題

- 四国東南地域において、国道55号は唯一の幹線道路であるが、沿岸部に位置しているため、台風時等には越波や事前通行規制が発生し、地域を分断している。
- 四国東南地域の四国8の字ネットワークには、ミッシングリンクがあり、国道55号は代替路がない。

▼四国東南地域で唯一の幹線道路である国道55号と四国8の字ネットワークの整備状況



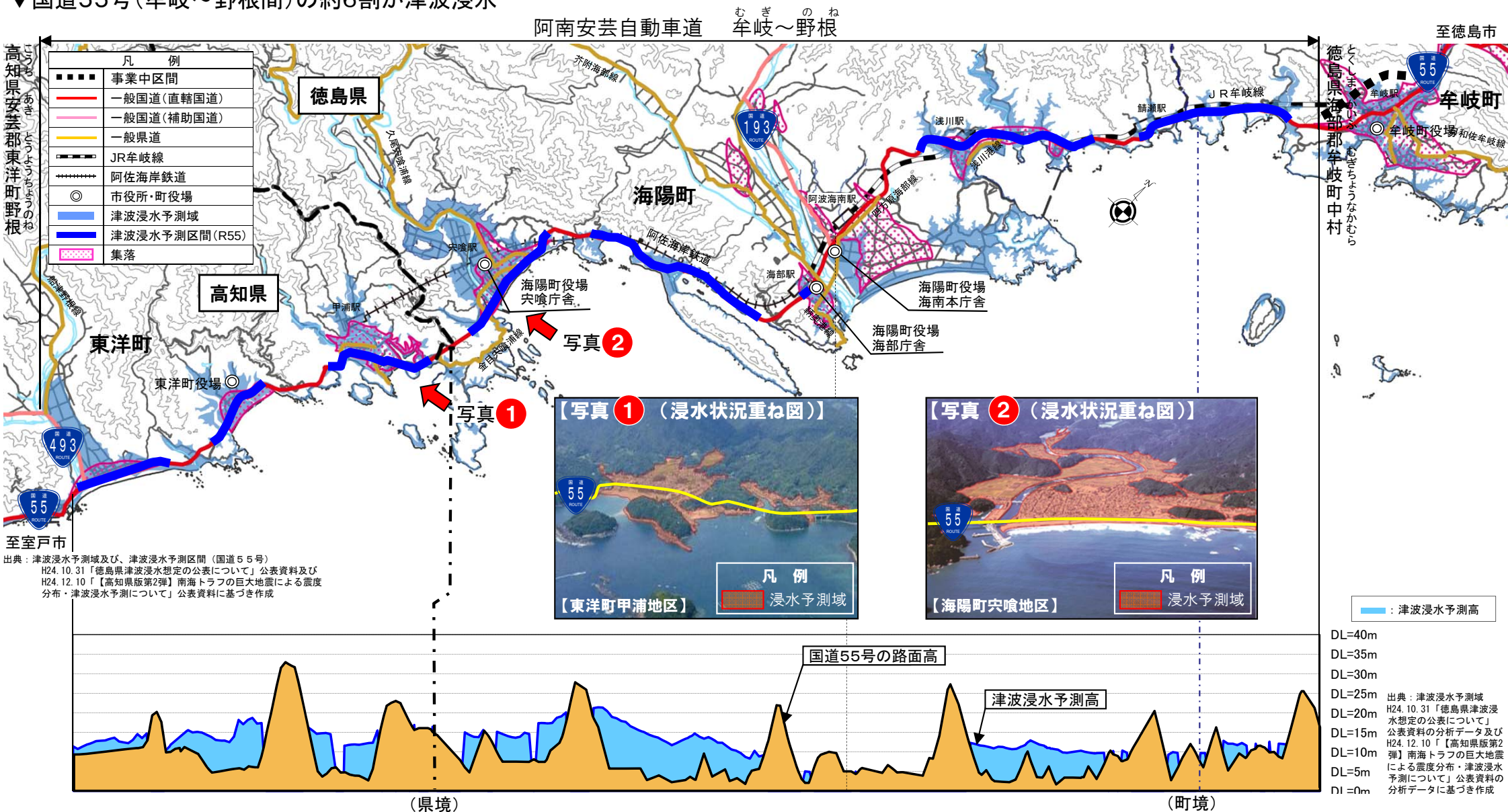
3. 道路の現状と課題(地震・津波)

13

現状
・
課題

- 国道55号の牟岐～野根間では、津波により約6割(最大浸水深約13m)が浸水すると予測されている。
- 当該地域では代替路がないため、地域が分断・孤立し、救命・救助が遅れることが課題となっている。

▼国道55号(牟岐～野根間)の約6割が津波浸水



3. 道路の現状と課題(急カーブ・急勾配)

現状・課題

○国道55号の牟岐～野根間には、急カーブや急勾配の箇所が多数あり、走行性が課題となっている。

▼牟岐～野根間には、急カーブ箇所が34箇所、急勾配箇所が8箇所存在



凡 例	
■■■■	事業中区間
—	一般国道(直轄国道)
—	一般国道(補助国道)
—	一般県道
—	JR牟岐線
—	阿佐海岸鉄道
◎	市役所・町役場
▲	急勾配箇所
●	急カーブ箇所
■	集落



4. 政策目標(案)

地域の現状と課題

道路による要因

政策目標(案)

①南海トラフ巨大地震

- 震度7の揺れ、高い津波により広範囲で甚大な被害が想定
- 地震・津波発生時に、地域の分断・孤立、確実に避難できるかが課題
- 防災拠点施設への円滑な救命・救助部隊のアクセスを確保することが今後の課題

- 国道55号(牟岐～野根間)の津波浸水が課題
- 代替路となる道路がない

①南海トラフ巨大地震に備えた信頼性の高いネットワークの確保

- ・代替路の確保
- ・防災拠点施設や避難路との連携

②医療

- 高齢者の増加により、医療サービスのニーズが増加
- 牟岐～野根間を通過する救急搬送は、年々増加傾向
- 第三次救急医療機関への移動は、約2時間も要し、迅速な治療が受けられない
- 現道の急カーブ等が患者の負担となっている

- 現道の速達性が課題
- 現道は急カーブ、急勾配箇所が多く、走行性が課題

②救急医療機関への速達性の向上・安静搬送の実現

③産業

- 全国トップの地鶏生産を活かすなど、地場産業の育成・発展が課題

- 現道の速達性が課題
- 現道は急カーブ、急勾配箇所が多く、走行性が課題

③速達性・走行性の向上により産業振興を支援

④観光

- 四国東南地域の観光客数は伸び悩んでいる
- 地域活性化のため、交流の促進が課題

- 現道の速達性が課題
- 現道では、地域の観光資源間の連絡が弱い

④地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援

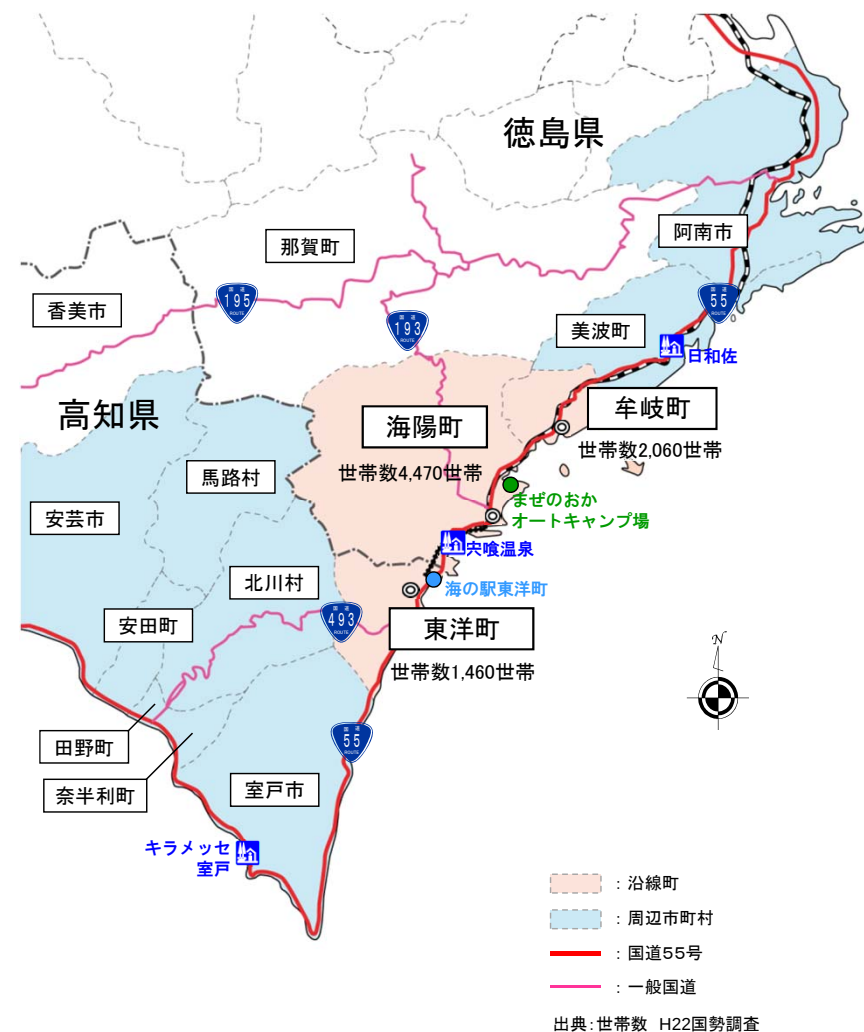
5. 意見聴取方法(案)

○政策目標(案)の確認のため、地域の課題、道路の役割
に対して意見を伺う。

(2) 意見聴取の対象者と方法

対象者・実施方法				
ヒアリング	【自治体及び団体代表者】県・関係市町村・団体へインタビュー形式でのヒアリング			
		自治体：徳島県、高知県、牟岐町、海陽町、東洋町 及び阿南市、美波町、室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村		
		各団体等：トラック協会、商工会議所、商工会、消防署、警察、バス事業者、農協、漁協、観光協会および、市町村が地域代表として推薦いただける地域の活動団体		
	【道路利用者】関係市町村の道の駅、観光施設の利用者へインタビュー形式でのヒアリング			
アンケート	【地域住民】牟岐町、海陽町、東洋町の住民へ郵送配布			約8,000部
		牟岐町：全世帯に配布		約2,000部
		海陽町：全世帯に配布		約4,500部
		東洋町：全世帯に配布		約1,500部
	【企業等】関係市町村の企業へ郵送配布			
		各企業：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等		約1,000部
【道路利用者】道の駅・観光施設等への常設、WEB（HP掲載）による実施				

■意見聴取範囲



(3) 第1回アンケートにおける質問内容

問1 あなたの住む地域※の課題は、どのようなものがありますか？

※牟岐町、海陽町、東洋町

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a 地震や津波の発生により、地域が分断され、孤立する	1	2	3	4	5
b 高度な治療ができる病院が遠く時間がかかる	1	2	3	4	5
c 高齢化が進み若い世代が地域から流出している	1	2	3	4	5
d 畜産業など地域産業が伸び悩んでいる	1	2	3	4	5
e 観光資源は豊富だが、観光客が増えない	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

問2 あなたの住む地域には、どのような役割をもつ道路が必要と思いますか？

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a 地震・津波に強く、国道55号の代わりとして利用できる道路	1	2	3	4	5
b 災害時の円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点施設や避難路と連絡できる道路	1	2	3	4	5
c 救急病院へ早くスムーズに行くことができる道路	1	2	3	4	5
d 速達性・走行性の向上により、産業振興につながる道路	1	2	3	4	5
e 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、道路に期待していることなどがあれば、ご自由にお書きください。

問3 その他、牟岐～野根間について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

阿南安芸自動車道（牟岐～野根）における 道路計画に関する第1回アンケート調査（案）



このアンケートは、徳島県海部郡牟岐町・海陽町、高知県安芸郡東洋町の道路計画について、周辺地域の皆さまにご意見を伺うアンケート調査です。

アンケートは2回行い、第1回（今回）では、地域の皆さまが感じている地域や道路の現状と課題について、ご意見をお伺いします。

また、第2回（次回）では、地域の課題を解決するための対策案についてお伺いする予定です。

アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

まず、以下をご覧ください。別紙のアンケートにご回答ください。

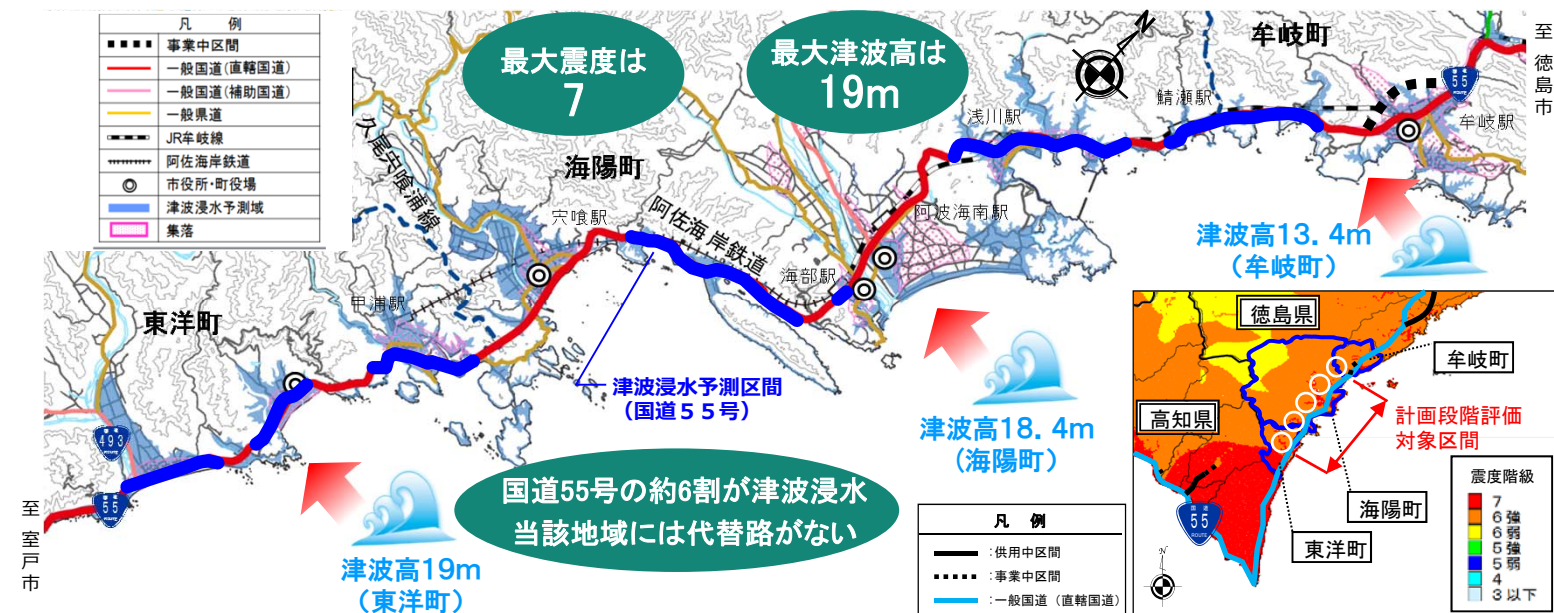
対象地域

*このアンケートでは、徳島県牟岐町・海陽町、高知県東洋町のことについて、お伺いします。

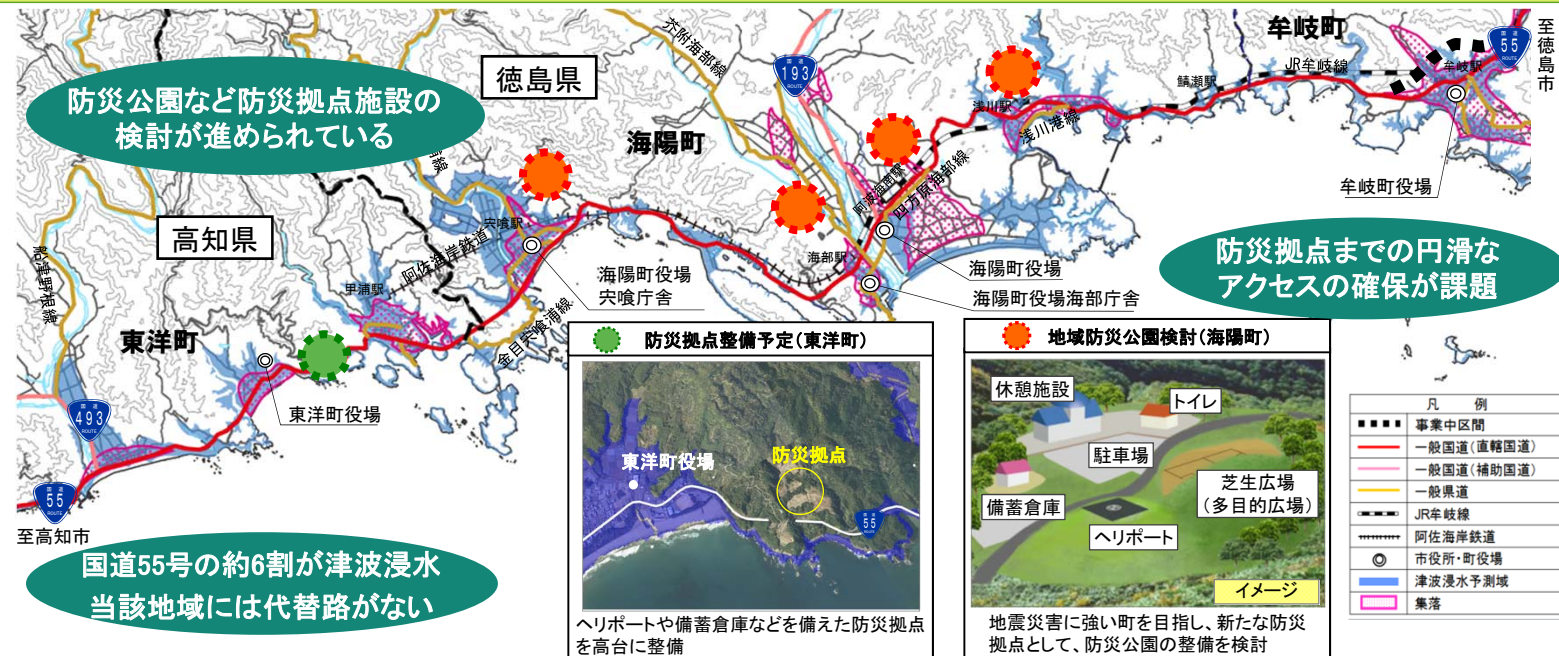


地域の現状と課題

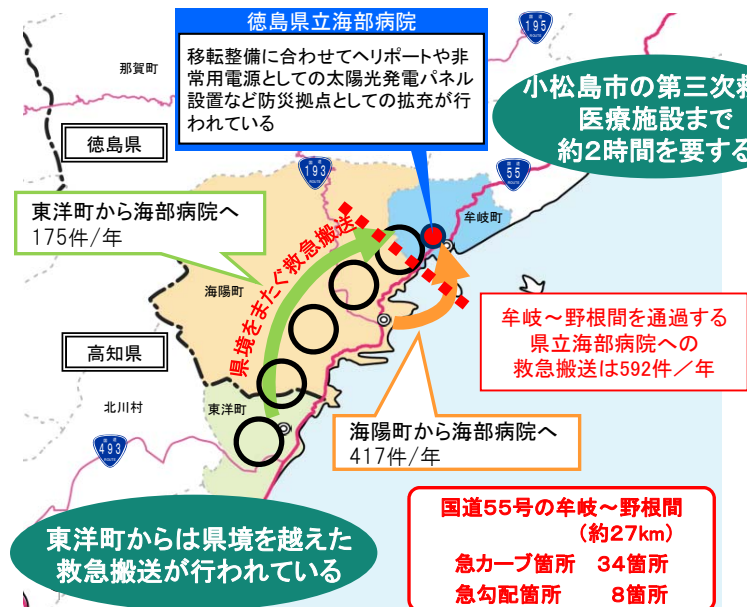
【地震・津波】南海トラフ巨大地震による揺れや津波により、地域が分断・孤立する



【防災まちづくり】防災拠点施設への円滑なアクセスを確保することが今後の課題

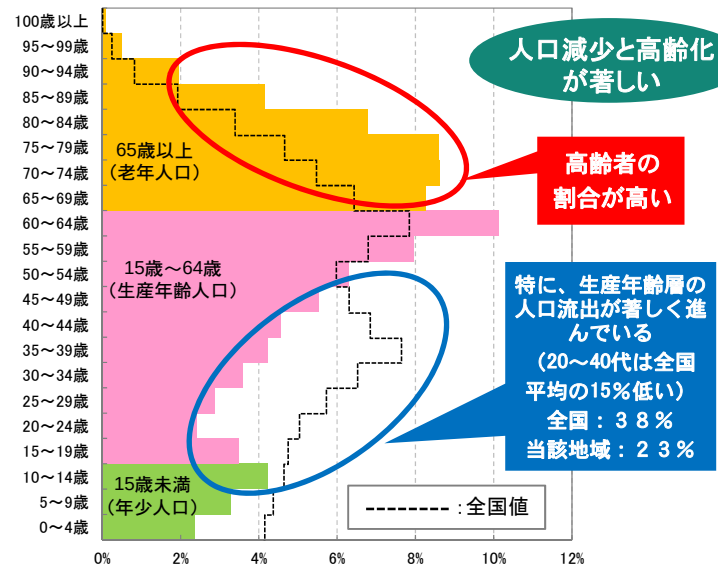


【医療】病院まで遠く迅速な治療が受けられない

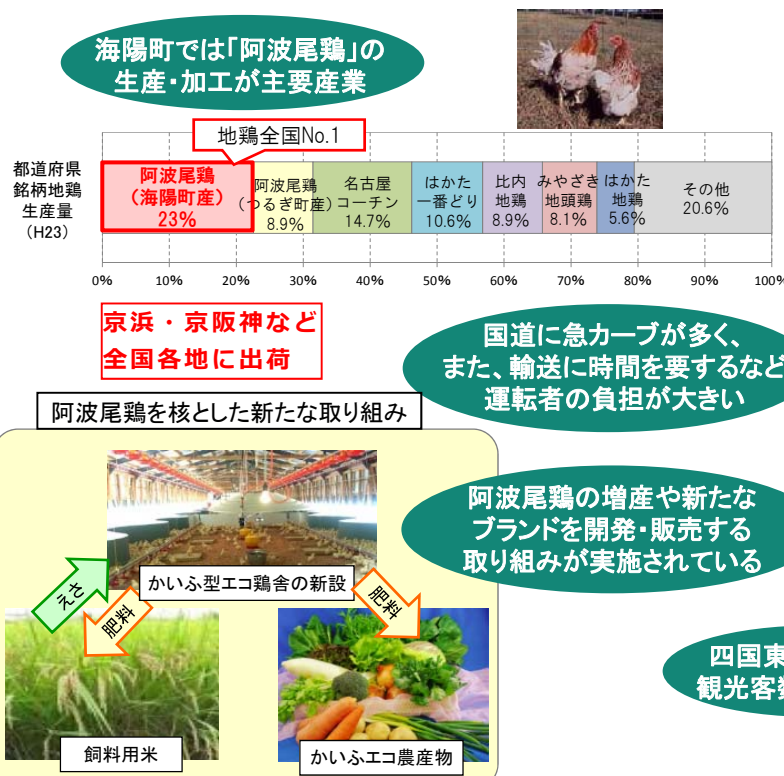


【人口減少と高齢化】若い世代が地域から流出

当該地域の年齢別人口(牟岐町、海陽町、東洋町合計値)



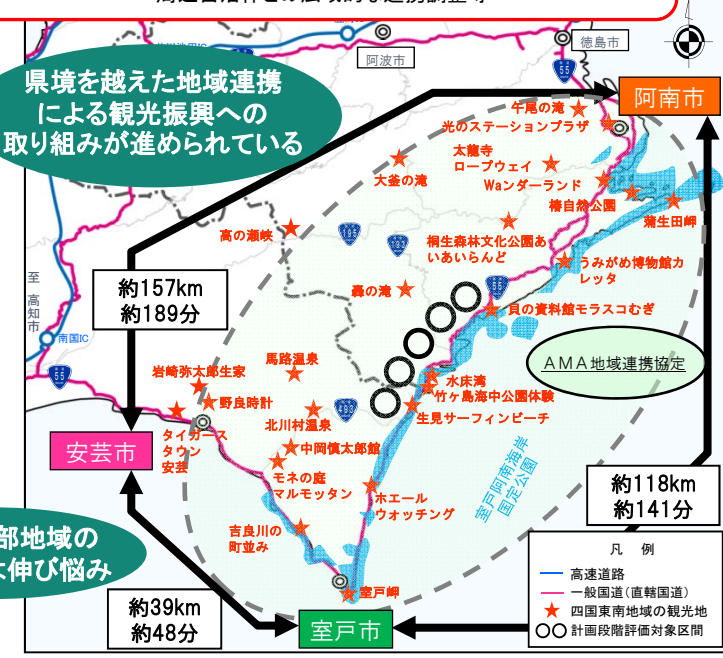
【産業】地場産業の育成・発展が課題



【観光】地域内外の交流促進が課題

AMA地域連携協定(阿南市・室戸市・安芸市)

- 目的: 四国東南地域の広域的な観光振興に取り組む
- 取組内容: 観光周遊コースの検討、情報発信、交流活動路の促進、周辺自治体との広域的な連携調整等



牟岐～野根間のアンケート

アンケートの今後の流れ

第1回アンケート

アンケート
結果の分析

第2回アンケート

対策案の検討

現在は
この段階です

回答はがき(返信用)

料金受取人払郵便

〇〇郵便局
承認

0000

差出有効期限
平成26年〇月〇日
(切手不要)

郵便はがき

0 0 0 0 0 0 0 0

000

国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所

●●●課

●●●アンケート係 行



アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局

徳島河川国道事務所 〇〇〇課〇〇〇アンケート係

〒

TEL 000-000-0000

みなさまのご意見をお待ちしております。

◆ご回答いただいた方ご自身のことについて

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。その他を選択された方は()内に具体的な内容をお書き下さい。

◆国道55号の利用状況について

国道55号牟岐～野根間の利用頻度および主な利用目的(自動車などでの)についてお伺いします。該当するものを選んで、番号に○をつけてください。

◆ご回答いただいた方ご自身のことについて
該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
その他を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください。

1) 住所 1. 徳島県牟岐町 2. 徳島県海陽町 3. 高知県東洋町
4. その他()

2) 性別 1. 男性 2. 女性

3) 年齢 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

◆国道55号(牟岐～野根間)の利用状況について
該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
その他を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください。

1) 現在の国道55号(牟岐～野根間)の利用頻度を教えてください
1. 毎日 2. 週2～3回程度
3. 月2～3回程度 4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない
6. その他()

2) 国道55号(牟岐～野根間)の主な利用目的を教えてください
1. 通勤 2. 通学 3. 家事・買い物
4. 仕事 5. 観光・レジャー
6. その他()

※本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。

牟岐～野根間のアンケートにお答えください。

(回答は、下の“回答はがき”に記入してください。)

別紙の「地域の現状と課題」をご覧ください、下記の設問にお答え下さい。

問1 あなたの住む地域※の課題は、どのようなものがありますか？

※牟岐町、海陽町、東洋町

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

- a 地震や津波の発生により、地域が分断され、孤立する
- b 高度な治療ができる病院が遠く時間がかかる
- c 高齢化が進み若い世代が地域から流出している
- d 畜産業など地域産業が伸び悩んでいる
- e 観光資源は豊富だが、観光客が増えない

上記a～e以外で、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

問2 あなたの住む地域には、どのような役割をもつ道路が必要だと思いますか？

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

- a 地震・津波に強く、国道55号の代わりとして利用できる道路
- b 災害時の円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点施設や避難路と連絡できる道路
- c 救急病院へ早くスムーズに行くことができる道路
- d 速達性・走行性の向上により、産業振興につながる道路
- e 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路

上記a～e以外で、道路に期待していることなどがあれば、ご自由にお書きください。

問3 その他、牟岐～野根間について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

■回答方法

- ・回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。

■締め切り

- ・平成26年〇月〇日までに投函願います。



回答はがき(返信用)



問1

あなたの住む地域※の課題は、どのようなものがありますか？

※牟岐町、海陽町、東洋町

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a 地震や津波の発生により、地域が分断され、孤立する	1	2	3	4	5
b 高度な治療ができる病院が遠く時間がかかる	1	2	3	4	5
c 高齢化が進み若い世代が地域から流出している	1	2	3	4	5
d 畜産業など地域産業が伸び悩んでいる	1	2	3	4	5
e 観光資源は豊富だが、観光客が増えない	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

問2

あなたの住む地域には、どのような役割をもつ道路が必要だと思いますか？

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a 地震・津波に強く、国道55号の代わりとして利用できる道路	1	2	3	4	5
b 災害時の円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点施設や避難路と連絡できる道路	1	2	3	4	5
c 救急病院へ早くスムーズに行くことができる道路	1	2	3	4	5
d 速達性・走行性の向上により、産業振興につながる道路	1	2	3	4	5
e 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、道路に期待していることなどがあれば、ご自由にお書きください。

問3

その他、牟岐～野根間について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。